

県政記者クラブ 各位

県土整備部 道路環境課

「高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組」が 第6回インフラメンテナンス大賞 国土交通大臣賞を受賞しました！

国土交通省等が社会資本のメンテナンスに係る優れた取組等を表彰する第6回インフラメンテナンス大賞において、県が取り組んでいる「高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組（高校生との協働による橋梁点検）」が国土交通大臣賞を受賞しましたので、お知らせします。本表彰制度の最高賞である大臣賞の受賞は、本県では初めてとなります。

なお、12月13日（火）には、今年度の最後の取組となる県立一関工業高校（土木科3年生）との協働による橋梁点検を実施しますので、併せてお知らせします。

1 インフラメンテナンス大賞について

- ・ 国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、防衛省がインフラメンテナンスの理念の普及を図ることなどを目的に平成28年度から実施している表彰制度。
- ・ 第6回インフラメンテナンス大賞の詳細は、別添の国土交通省報道発表資料のとおり。

2 受賞した取組の概要 ※取組の実施状況は、「別紙1」のとおり。

- ・ 県が道路法に基づき実施する橋梁点検について、令和元年度から県内の土木系学科の高校生と協働で取り組んでいるもの。
- ・ 高校生にインフラメンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらうとともに、自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支えるという土木の魅力を感じてもらい、将来のインフラメンテナンスの担い手の確保・育成を推進することを目的としている。
- ・ 本取組に参加した生徒の中には、県内の自治体や建設企業・コンサルタントへの入職者もおり、将来のインフラメンテナンスを担う人材の確保・育成につながっている。

3 一関工業高校との協働による橋梁点検 ※実施内容等の詳細は、「別紙2」のとおり。

(1) 日時：令和4年12月13日（火）9時30分～15時30分（予定）

(2) 対象：土木科3年生・6人

(3) 点検橋梁：主要地方道栗駒平泉線^{ほんでらばし}本寺橋（一関市巖美町岡山地内）ほか2橋

(4) 取材申込：「別紙3」により12月12日（月）12時までに申込みをお願いします。

【問い合わせ先】



県土整備部 道路環境課

維持担当課長 亀田、主任主査 熊谷

TEL：019-629-5878（内線5881）

FAX：019-629-9124

県土整備部キャッチコピー

厚生労働省 農林水産省
経済産業省 防衛省 同時発表

令和4年12月5日
総合政策局公共事業企画調整課
大臣官房公共事業調査室

インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！ ～第6回「インフラメンテナンス大賞」受賞者(大臣賞等)を決定～

国土交通省では、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、防衛省とともに、「インフラメンテナンス大賞」の各省大臣賞等の計37件の受賞者を決定しました。なお、表彰式を令和5年1月13日(金)に開催する予定です。

1. 「インフラメンテナンス大賞」とは

インフラメンテナンス大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンス」という。）に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

2. 応募状況及び審査結果

第6回目となる今回は、令和4年3月22日から同年6月17日まで募集したところ、195件の応募がありました。有識者による選考委員会（委員長：三木千壽 東京都市大学学長）の審査を経て、計37件（大臣賞9件、特別賞7件、優秀賞21件）の受賞者を別紙のとおり決定しました。

3. 今後の予定について

令和5年1月13日(金)に各賞の表彰式を各省合同で開催する予定です。詳細については、後日お知らせします。

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課 原田、萩野、林田
代表：03-5253-8111 (24543, 24553, 24544) 直通：03-5253-8912
FAX：03-5253-1551

第6回「インフラメンテナンス大賞」受賞者

- ※1 凡例 ア メンテナンス実施現場における工夫部門 イ メンテナンスを支える活動部門 ウ 技術開発部門
 ※2 応募する取組や技術開発が複数の分野にまたがる場合は、最大3分野（主分野1つ、副分野2つ）まで応募することが可能

＜総務省＞

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	優秀賞	ウ	副	情報通信 関係施設	株式会社四電技術コンサルタント	ICT技術とBIM/CIMモデルを融合した維持管理手法の構築に向けた取組み

＜文部科学省＞

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	特別賞	ア	主	文教 施設等	明石市総務局財務室財務担当	市有施設包括管理業務委託
2	優秀賞	ア	主	文教 施設等	大田原市教育委員会	学校施設における法12条点検の取組みと修繕工事のインソーシング

＜厚生労働省＞

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	厚生労働 大臣賞	ア	主	水道	八尾市水道局 施設整備課	Excelを活用した直営での水道施設台帳システムの運用方法

＜農林水産省＞

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	農林水産 大臣賞	イ	主	水産 基盤等	一般社団法人 漁港漁場新技術研究会	地方公共団体を支援する漁港漁場施設の維持管理ガイドラインの作成・普及
2	農林水産 大臣賞	ウ	主	農業 農村	藤村クレスト株式会社	パネル被覆工法「ストバネ工法」による腐食鋼矢板水路の補修・迅速再生技術の開発
3	特別賞	イ	主	農業 農村	いなみ野ため池ミュージアム運営協議会	いなみ野ため池ミュージアムの取組
4	特別賞	イ	主	農業 農村	新潟県農地部農地建設課	新潟県における振動測定による農業用ポンプの状態監視の取組
5	特別賞	イ	主	農業 農村	岐阜県土地改良事業団体連合会	地元管理者による施設監視情報の蓄積と図表選択式による施設点検システムの開発
6	優秀賞	ア	主	農業 農村	岩見沢市農政部	5次元治水対策による持続的で柔軟な地域強化
7	優秀賞	ア	主	農業 農村	磐田用水東部土地改良区	新技術の導入と地域ぐるみの活動で農業水利施設の管理を効率化
8	優秀賞	ア	主	農業 農村	山形県ため池サポートセンター	ICTを活用したため池定期点検への挑戦
9	優秀賞	イ	主	水産 基盤等	長崎県 水産部 漁港漁場課	県職員OBによる施設点検への協力と技術継承
10	優秀賞	ウ	主	農業 農村	株式会社 荏原製作所	ドライ始動（低トルク始動）対応横軸ポンプの技術開発
11	優秀賞	ウ	副	林野	秋田県立大学	危険予測の可能なIoTセンサと間伐材を用いた雪崩・落石の計測柵開発

＜経済産業省＞

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	経済産業 大臣賞	ア	主	ガス	大阪ガスネットワーク株式会社	担い手不足の社会に対応した都市ガス供給用ガバナのメンテナンス効率化
2	経済産業 大臣賞	ウ	主	電力	東京電力パワーグリッド株式会社	送電用鋼管鉄塔の部材腐食に伴う現場VaRTM工法によるCFRP補修技術の開発
3	優秀賞	ア	副	電力	国立大学法人 滋賀医科大学	接地極無開放方式を採用した接地端子盤

＜防衛省＞

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	防衛 大臣賞	ウ	主	自衛隊 施設	日本工営株式会社	BSC工法を活用した演習場内道路法面等の保全
2	優秀賞	ア	主	自衛隊 施設	日本海洋コンサルタント株式会社	ドッグ排水設備、通水路の目視調査における水中ドローンの活用

第6回「インフラメンテナンス大賞」受賞者

※1 凡例 ア メンテナンス実施現場における工夫部門 イ メンテナンスを支える活動部門 ウ 技術開発部門



※2 応募する取組や技術開発が複数の分野にまたがる場合は、最大3分野（主分野1つ、副分野2つ）まで応募することが可能



＜国土交通省＞



No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	国土交通大臣賞	ア	主	河川・ダム・砂防・海岸	松江市上下水道局	文化財に指定されたダムの堤体PSアンカー工法による耐震補強工事
2	国土交通大臣賞	イ	主	道路	岩手県県土整備部道路環境課	高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組
3	国土交通大臣賞	ウ	主	港湾・海岸	株式会社大林組	圧入施工が可能な超高耐久性モルタルによる補修技術（スリムフローグラウト工法）の開発
4	特別賞	ア	主	空港	国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所	100年間性能を確保する羽田空港D滑走路の維持管理サイクル
5	特別賞	ウ	主	下水道	大成建設株式会社	耐硫酸コンクリートを用いた下水道施設のメンテナンスフリー技術の開発
6	特別賞	ウ	主	鉄道	西日本旅客鉄道株式会社	出改札機器CBMの実現に向けた故障予測AIの開発
7	優秀賞	ア	主	道路	多摩市	包括的民間委託を活用した橋梁維持管理の仕組みづくり
8	優秀賞	ア	主	道路	国土防災技術株式会社	軽量ボーリングマシンを使用した高品質盛土診断技術・QSボーリング工法
9	優秀賞	ア	主	港湾・海岸	国際航業株式会社	ナローマルチビーム・レーザスキャナ・UAVを用いた港湾施設の効率的な三次元計測
10	優秀賞	ア	主	港湾・海岸	東亜建設工業株式会社	CIMを取り入れた岸壁補修工事における施工管理の効率化の取組
11	優秀賞	イ	主	道路	ウシワカ製作委員会	ウシワカ・プロジェクト
12	優秀賞	ウ	主	道路	三井住友海上火災保険株式会社	～産学官連携DXで道路点検をサポート～ ドラレコ・ロードマネージャー
13	優秀賞	ウ	主	河川・ダム・砂防・海岸	大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体	DX-ダム本体建設における、CIMの設計・施工・維持管理への一貫利用
14	優秀賞	ウ	主	下水道	日本水工設計株式会社	下水道の雨天時浸入水検出技術「ラインスクリーニング」の開発
15	優秀賞	ウ	主	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道建築物被災度判定アプリの開発と判定訓練手法の確立
16	優秀賞	ウ	主	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	モニタリング技術を用いた架線設備検査手法の開発と本格導入
17	優秀賞	ウ	主	公園	一般社団法人日本公園施設業協会	都市公園における遊具等の点検データベースシステムの開発と運用

国土交通省案件

国土交通大臣賞

応募部門	ア. メンテナンス実施現場における工夫部門	 <p>堤体PSアンカー施工状況</p>  <p>工事完了全景写真(景観を保存)</p>
案件名	文化財に指定されたダム の堤体PSアンカー工法による耐震補強工事	
代表団体名	松江市上下水道局	
(概要)	<p>建設後約100年が経過した今も松江市の水道用水の1/4の原水を供給し続けている千本ダムは、ダム健全度調査で耐震性の懸念が判明したため、堤体の耐震補強を実施することとなった。千本ダムは、表面が石積み式の風情ある佇まいの歴史的価値が高い構造物であり、国指定の登録有形文化財に指定されている。</p> <p>そのため国内初の堤体PSアンカー工法を採用し、水道水を供給し続けるとともに景観も変化させることなく、工期ならびに工費を従来工法より大幅に削減したうえで、今後さらに100年間利用できるよう補強工事を実施した。</p>	

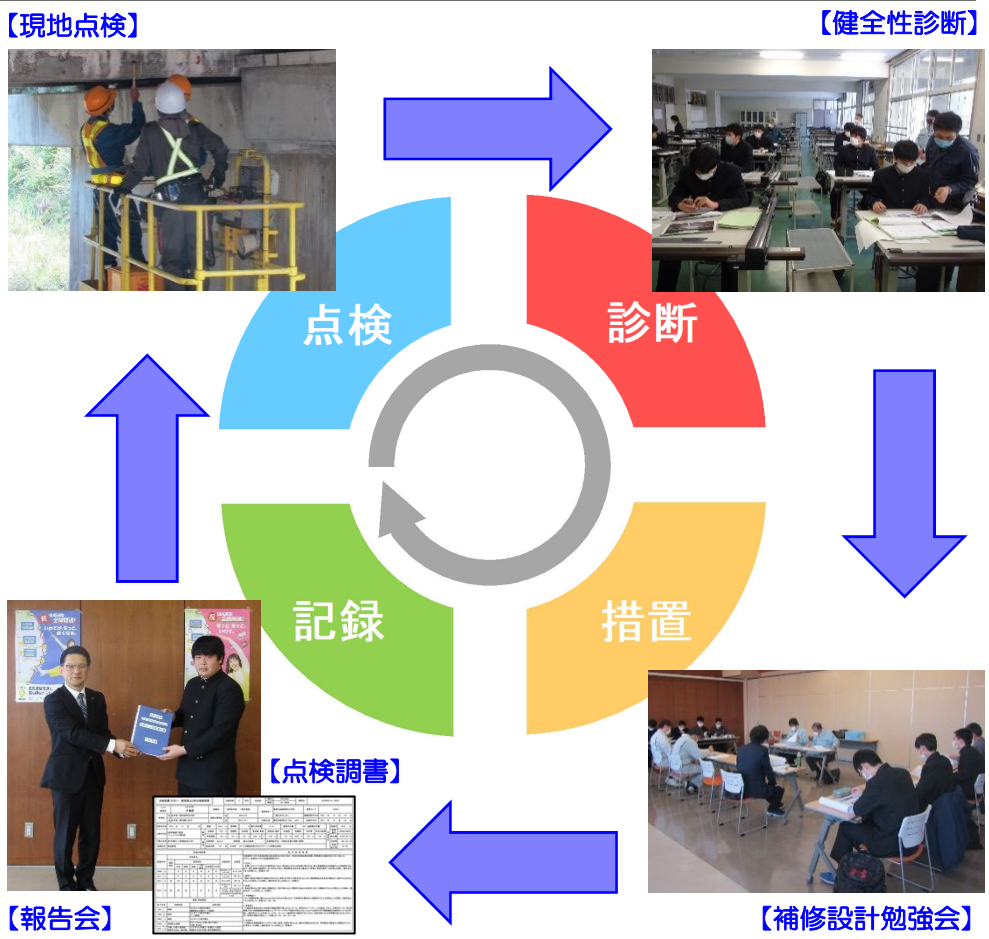
応募部門	イ. メンテナンスを支える活動部門	 <p>現地点検の実施状況</p>  <p>健全性診断の実施状況</p>
案件名	高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組	
代表団体名	岩手県県土整備部道路環境課	
(概要)	<p>岩手県が道路法に基づき実施する橋梁の定期点検及び健全性の診断について、県と県内の土木系学科の高校生が協働で取り組むことにより、高校生に道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらうとともに、自らが実施した点検が県民の安全な暮らしを支えるという土木の魅力を感じてもらい、将来のインフラメンテナンスの担い手の確保・育成を推進するものである。</p> <p>併せて、本取組に関する広報や報道等を通じて県民にインフラメンテナンスの必要性や重要性等を広く情報発信するものである。</p>	

応募部門	ウ. 技術開発部門	 <p>注入口</p> <p>アクリル型枠による充填実験状況</p>  <p>最小限のヤードでモルタルを圧送</p> <p>施工状況(棧橋供用しながら施工)</p>
案件名	圧入施工が可能な超高耐久性モルタルによる補修技術(スリムフローグラウト工法)の開発	
代表団体名	株式会社大林組	
(概要)	<p>高度経済成長期に建設された棧橋構造物の多くが塩害により劣化しており、早期の改修が喫緊の課題となっている。棧橋は重要な物流拠点であるため、修繕頻度の低減および供用しながらの改修が求められている。</p> <p>そこで、厳しい塩害環境下においても100年の耐久性を確保し、同種の従来工法よりライフサイクルコストを大幅に低減できる超高耐久性の材料を開発した。また、床版下面より本材料を圧入充填することで、棧橋上を供用しながら補修できる改修工法を開発した。</p>	

○高校生に道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらうとともに自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支えるという土木の魅力を感じてもらい将来のインフラメンテナンスを担う土木技術者の担い手の確保・育成を推進する。

高校生との協働による橋梁点検の実施状況

年度	対象高校		橋梁点検数
R1	①盛岡工業高校	土木科3年生 (9人)	3橋
R2	①盛岡工業高校	土木科3年生 (7人)	5橋
	②久慈工業高校	建設環境科2年生 (8人)	4橋
R3	①盛岡工業高校	土木科3年生 (8人)	4橋
	②久慈工業高校	建設環境科2年生 (7人)	4橋
	③黒沢尻工業高校	土木科3年生 (5人)	4橋
	④一関工業高校	土木科3年生 (7人)	4橋
R4	①盛岡工業高校	土木科3年生 (8人)	3橋
	②久慈工業高校	建設環境科2年生 (5人)	3橋
	③黒沢尻工業高校	土木科3年生 (8人)	3橋
	④一関工業高校	土木科3年生 (6人)	3橋
	⑤花巻農業高校	環境科学科3年生 (5人)	3橋



メンテナンスサイクルの流れに沿って橋梁のメンテナンスを実習形式で学習

一関工業高校との協働による橋梁点検について

1 日時：令和4年12月13日（火）9時30分～15時30分（予定）

2 対象：県立一関工業高校（土木科3年生・6人）

3 内容 ※橋梁点検の位置図は「別紙4」のとおり

項目	内容等	時間
橋梁点検①	<small>ほんでらばし</small> 主要地方道栗駒平泉線 本寺橋 （一関市巖美町岡山地内） 橋長：76.0m、全幅員：11.0m、 完成年：1988年（昭和63年）、 構造形式：鋼方杖ラーメン橋	9時30分～11時30分 （注1）
	【移動】橋梁点検①⇒橋梁点検②（注2）	11時30分～13時00分
橋梁点検②	<small>なのはなばし</small> 一般県道薄衣舞川線 菜の花橋 （一関市舞川谷地地内） 橋長：99.0m、全幅員：17.3m、 完成年：2004年（平成16年）、 構造形式：3径間連続非合成鋼桁橋（耐候性鋼材）	13時00分～14時00分
	【移動】橋梁点検②⇒橋梁点検③	14時00分～14時10分
橋梁点検③	<small>しどうまたきちゅうおうせん</small> 一般国道284号 市道真滝中央線カルバート （一関市滝沢清水尻地内） 橋長：11.0m、全幅員：13.5m、 完成年：2009年（平成21年）、 構造形式：RCボックスカルバート	14時10分～15時30分

（注1）岩手県の道路メンテナンスへの取組等の説明（9時30分～9時50分）

（注2）休憩時間を含む

県土整備部
道路環境課 宛

【申込先(FAX番号)】019-629-9124
【問合せ(電話番号)】019-629-5878(内線5881)

【高校生との協働による橋梁点検】 取材申込書

取材を希望される場合は、本紙によりFAXで申込みください。
【申込締切】令和4年12月12日(月)12時

1 取材希望

内容	日時	備考
県立一関工業高校 (現地点検)	令和4年12月13日(火) (9時30分～15時30分)	①(主)栗駒平泉線 本寺橋 (9時30分～11時30分) ②(一)薄衣舞川線 菜の花橋 (13時～14時) ③(国)284号 市道真滝中央線カルバート (14時10分～15時30分)

(注)①～③いずれかの取材も可能です。

2 取材会社等

会社名	
取材人数	
取材代表者名	
連絡先 (TEL)	

(注)記載いただいた情報は本取材以外の目的には使用しません。

〔留意事項〕

- ①集合場所等の詳細は申込者に別途連絡します。
- ②連絡先は緊急時等に連絡可能な電話番号の記載をお願いします。
- ③現場ではヘルメットを着用していただきますので、持参をお願いします。

